

# 2026年3月期 第2四半期 決算概要

2025年11月21日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証スタンダード)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

# 2026年3月期 2Q決算ハイライト

1Qに続き日本の受注状況は低迷中だが、中国の自動車関連の受注好調もあり、増収増益

売上	連結	連結売上高は、前年同期比102.9%、5億円増の205億円
	日本	前年同期比92.8%の53億円 飲料関連は堅調だが、特に自動車関連の落ち込みの影響大
	中国	前年同期比107.6%の122億円 自動車関連の受注が増加しており増収
	東南アジア	前年同期比106.3%の10億円 ベトナム、マレーシアは好調、インドが不調
	欧米他	前年同期比103.2%の19億円 欧州が好調に推移
利益		営業利益は、前年同期比142.8%の989百万円 経常利益は、前年同期比170.7%の1,035百万円 親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比263.4%の559百万円
ネット資金		配当及び賞与支給等により、期首から872百万円減少



# 損益計算書サマリー(2Q比較)

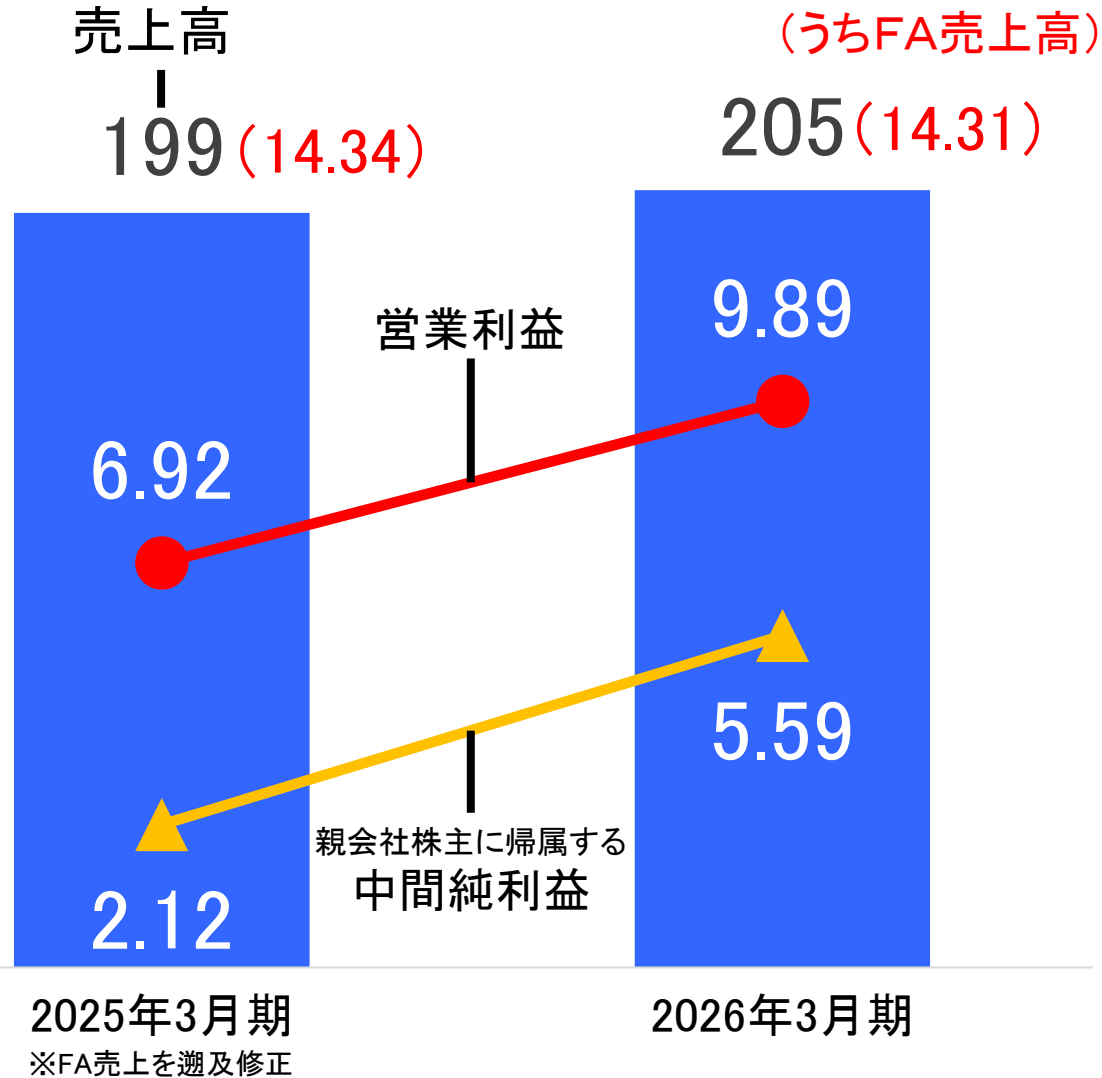
(単位:百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	前年同期差	前年同期比
売上高	19,989	20,564	575	102.9%
営業利益	3.5% 692	4.8% 989	296	142.8%
経常利益	3.0% 606	5.0% 1,035	428	170.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1.1% 212	2.7% 559	346	263.4%

【為替レート(実績)】 1人民元=20.19円／1USドル=149.01円

# 売上高と利益(2Q比較)

(単位:億円)



## 【前年同期比較】

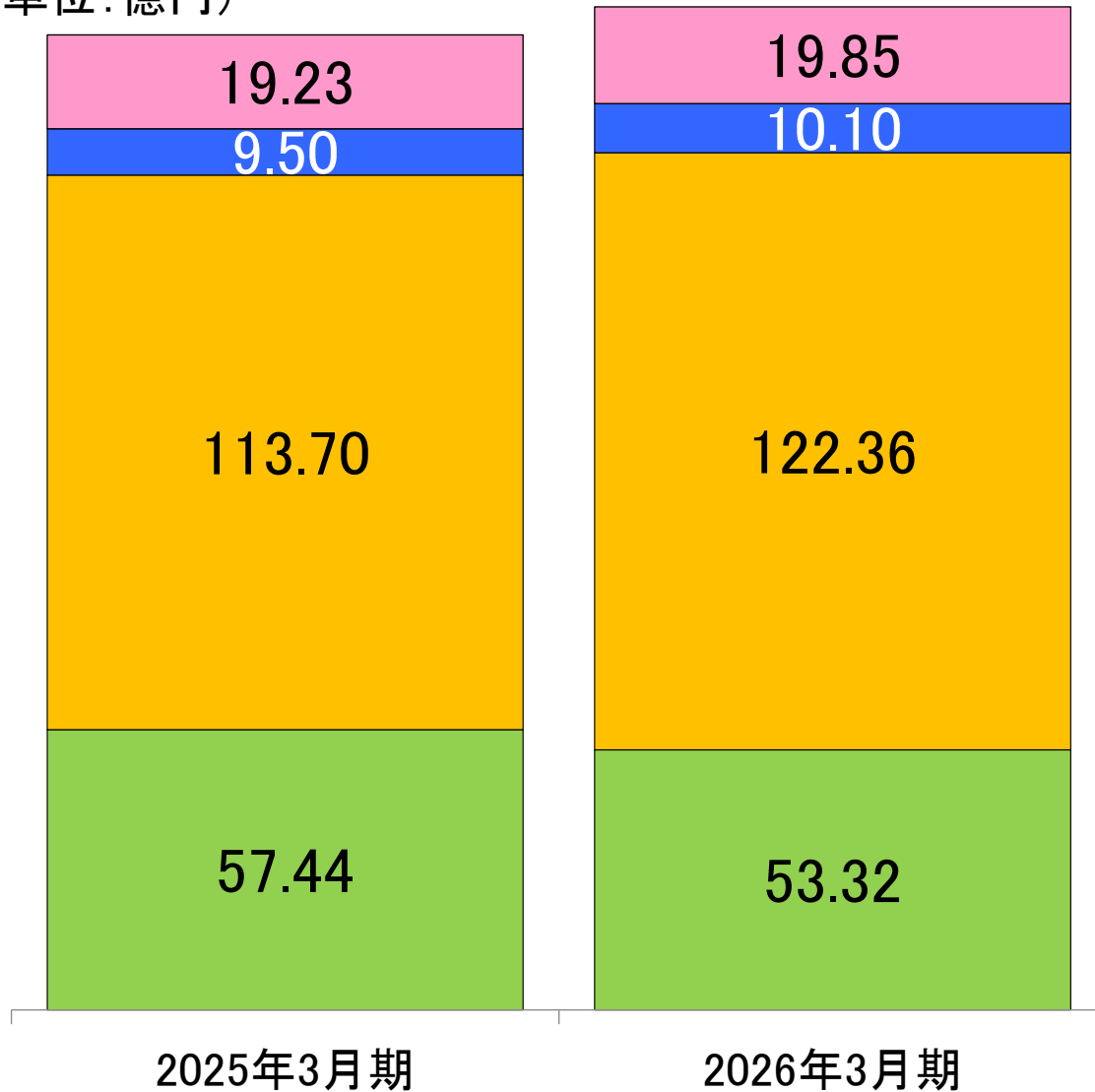
売上高	5 億 75 百万円	増収
営業利益	2 億 96 百万円	増益
純利益	3 億 46 百万円	増益

※親会社株主に帰属する中間純利益



# 地域別売上高(2Q比較)

(単位:億円)



中国では自動車関連の受注が好調に推移  
欧米他も好調に推移

欧米他 欧州が好調に推移

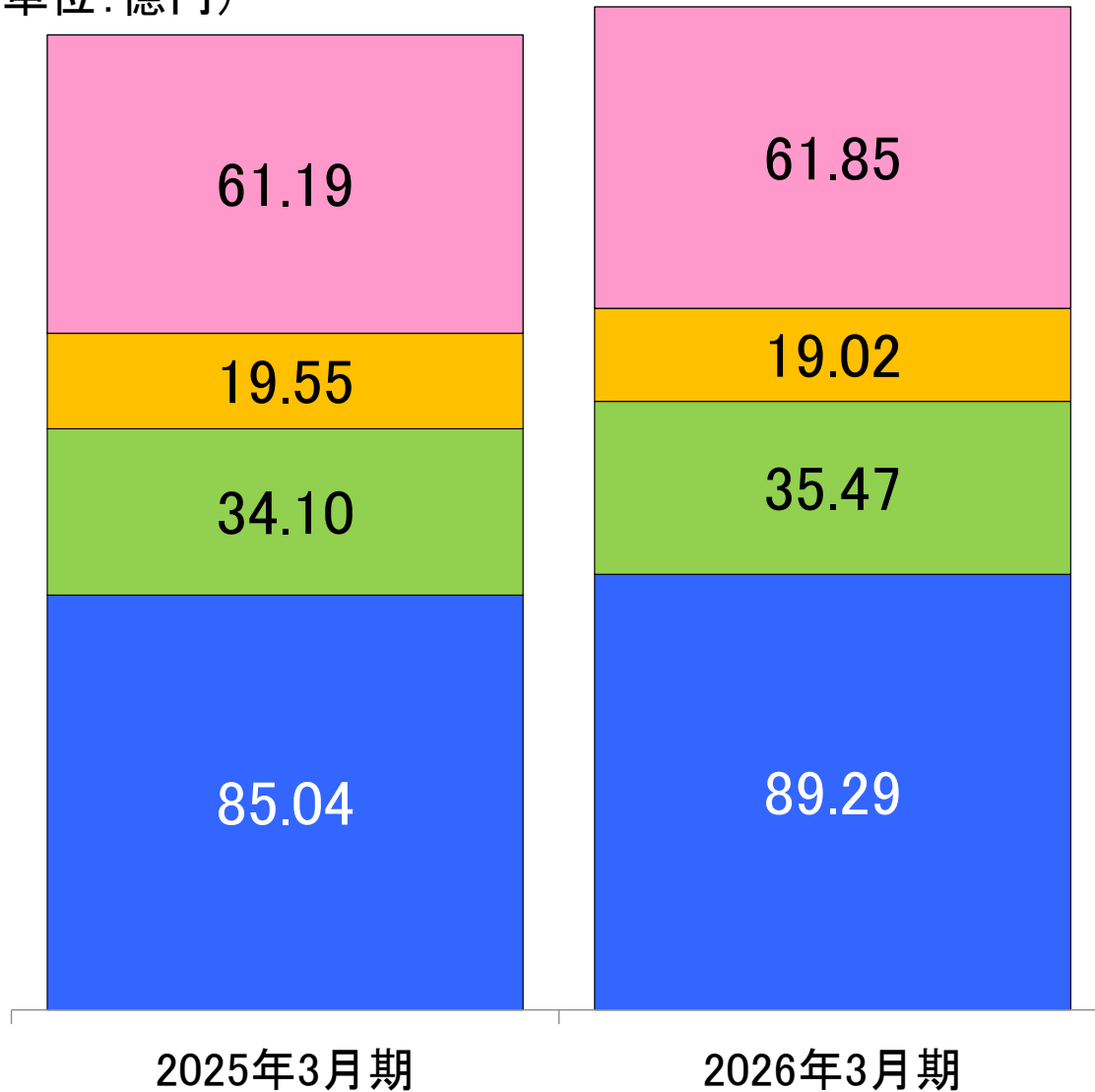
東南アジア ベトナム、マレーシアが好調

中国 自動車関連が好調継続

日本 飲料関連のみ堅調

# 業種別売上高(2Q比較)

(単位:億円)



自動車関連は中国での受注増  
その他は商社経由の受注増

その他 商社経由の受注増

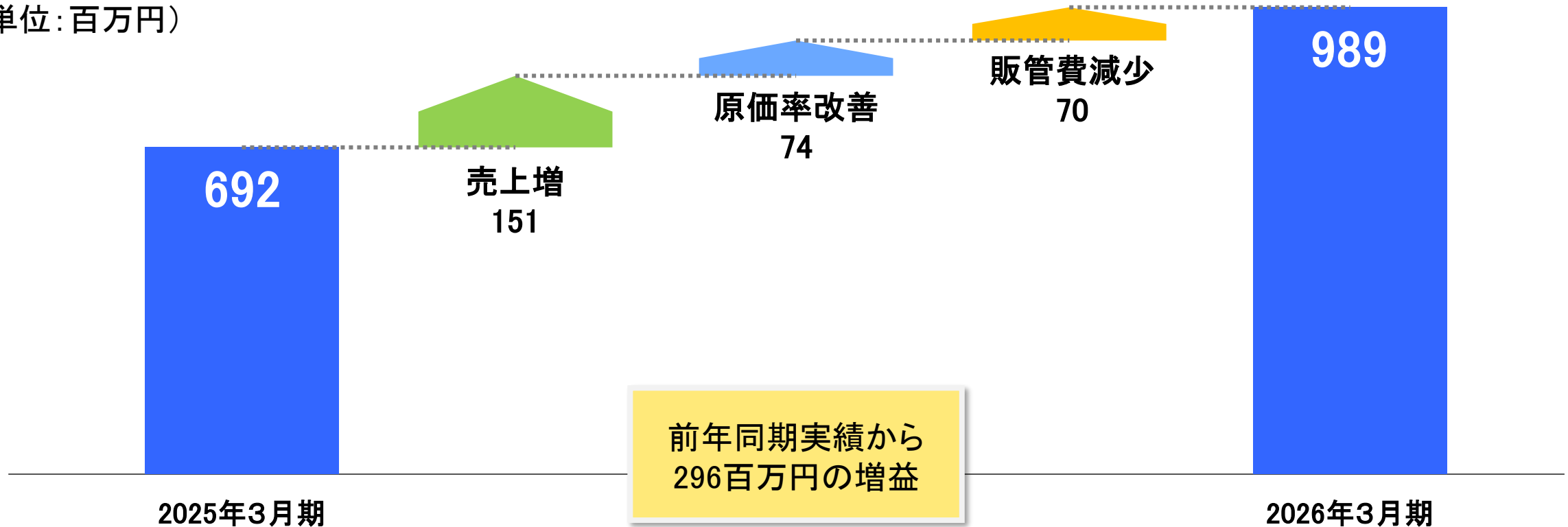
家電・精密機器 市場が低迷継続

電子部品・半導体 スマホの中国市場の復調

自動車 日本は停滞継続だが  
中国では受注好調

# 営業利益増減(2Q比較)

(単位:百万円)



## 【売上の主な増減要因】

- (+) 中国・東南アジアを中心とした受注増
- (-) 主として日本の自動車関連の受注減

## 【原価率の主な増減要因】

- (+) 中国での稼働増による原価率改善
- (-) 日本での稼働減及び工場の修繕費増

## 【販管費の主な増減要因】

- (+) 日本・中国での間接費の抑制
- (-) 中国売上増に伴う荷造運搬費増

# 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2025年3月期末	2026年3月期 第2四半期末	比較増減
総資産	32,970	31,736	▲ 1,234
総負債	10,931	10,670	▲ 260
うち有利子負債	3,101	2,902	▲ 199
純資産	22,038	21,065	▲ 973
ネット資金	3,393	2,521	▲ 872
自己資本比率	66.7%	66.3%	▲ 0.4pt

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	474	514	40
減価償却費(無形固定資産含む)	594	574	▲ 19



# 2026年3月期 通期連結業績及び配当の予想

(単位:百万円)

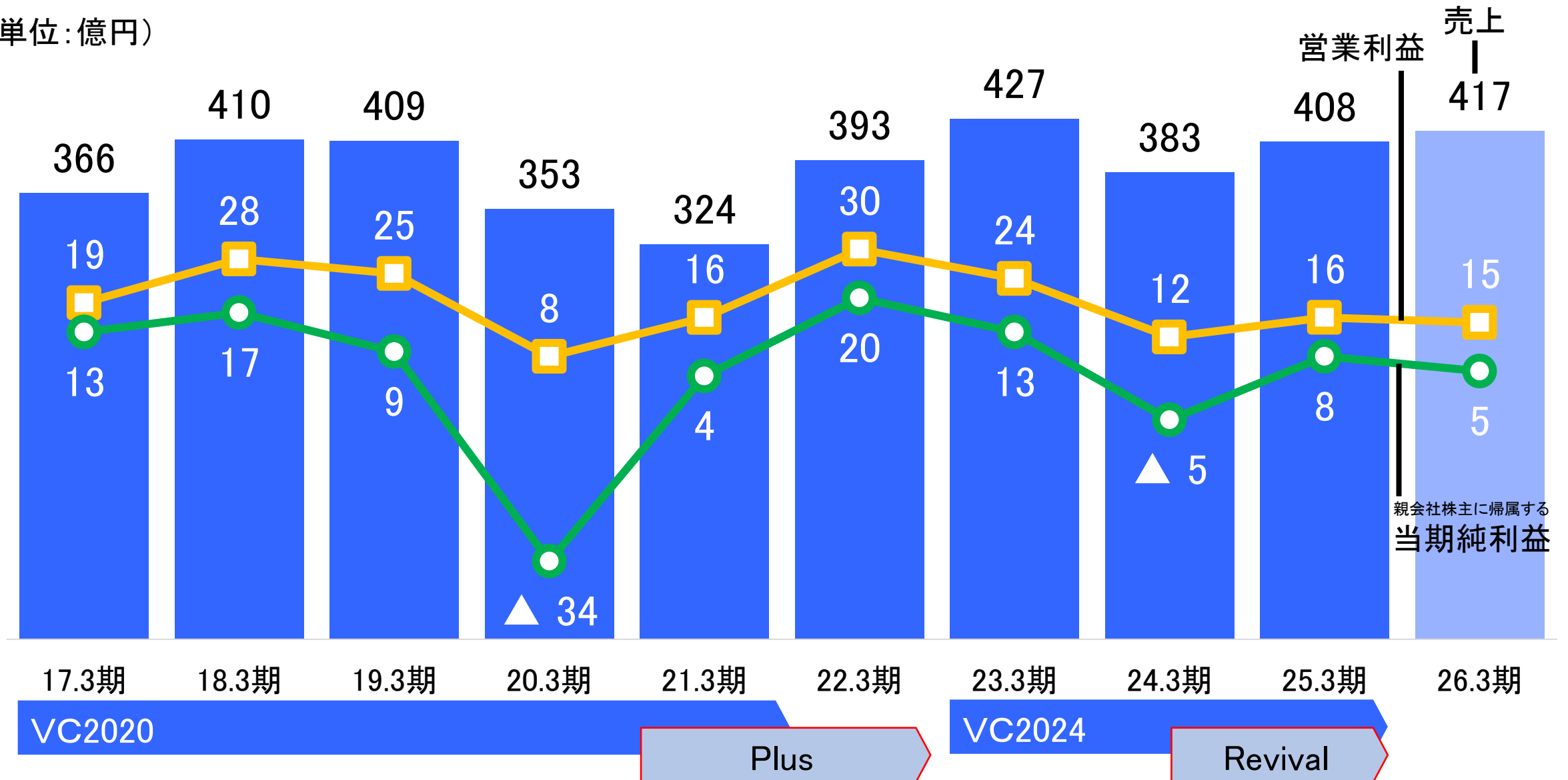
	2025年3月期 (実績)		2026年3月期 連結累計期間					
			前回予想		修正予想		前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	40,822		41,100		41,700		877 (102.2%)	600 (101.5%)
営業利益	4.1%	1,685	3.4%	1,400	3.8%	1,590	▲ 95 (94.3%)	190 (113.6%)
経常利益	4.0%	1,613	3.3%	1,350	3.9%	1,630	16 (101.0%)	280 (120.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	2.1%	868	0.7%	300	1.4%	570	▲ 298 (65.6%)	270 (190.0%)
自己資本利益率(ROE)	5.4%		1.8%		3.4%		▲ 2.0pt	1.6pt
投下資本利益率(ROIC)	6.0%		4.9%		5.5%		▲ 0.5pt	0.6pt

2026年3月期 配当予想	18円54銭(予定) = 中間 9円13銭 + 期末 9円41銭
------------------	----------------------------------

【為替レート】 1人民元＝20円66銭／1USドル＝148円84銭    【設備投資】 設備投資額:14億円 減価償却費:11億円  
※2026年3月期 通期連結業績予想の親会社株主に帰属する当期純利益には、日本事業の減損損失を織り込み済

# 経営数値の推移

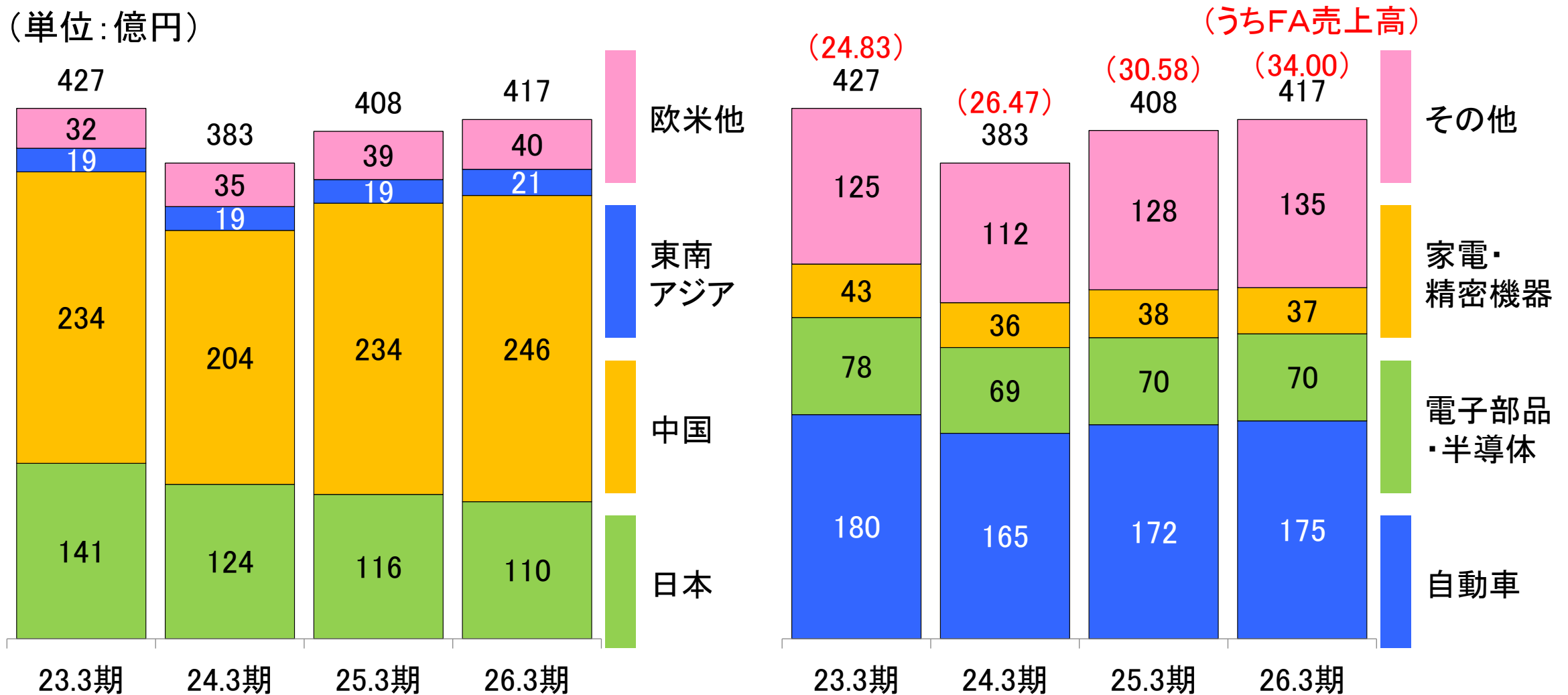
(単位: 億円)



# 地域別・業種別売上(FA含む)の推移

日本は営業人員不足による受注低迷継続、海外は景況回復基調も為替影響もあり連結では減収予測

(単位: 億円)





# 長期ビジョン「Vision60」の概要 及び 中期経営計画VC28の方向性

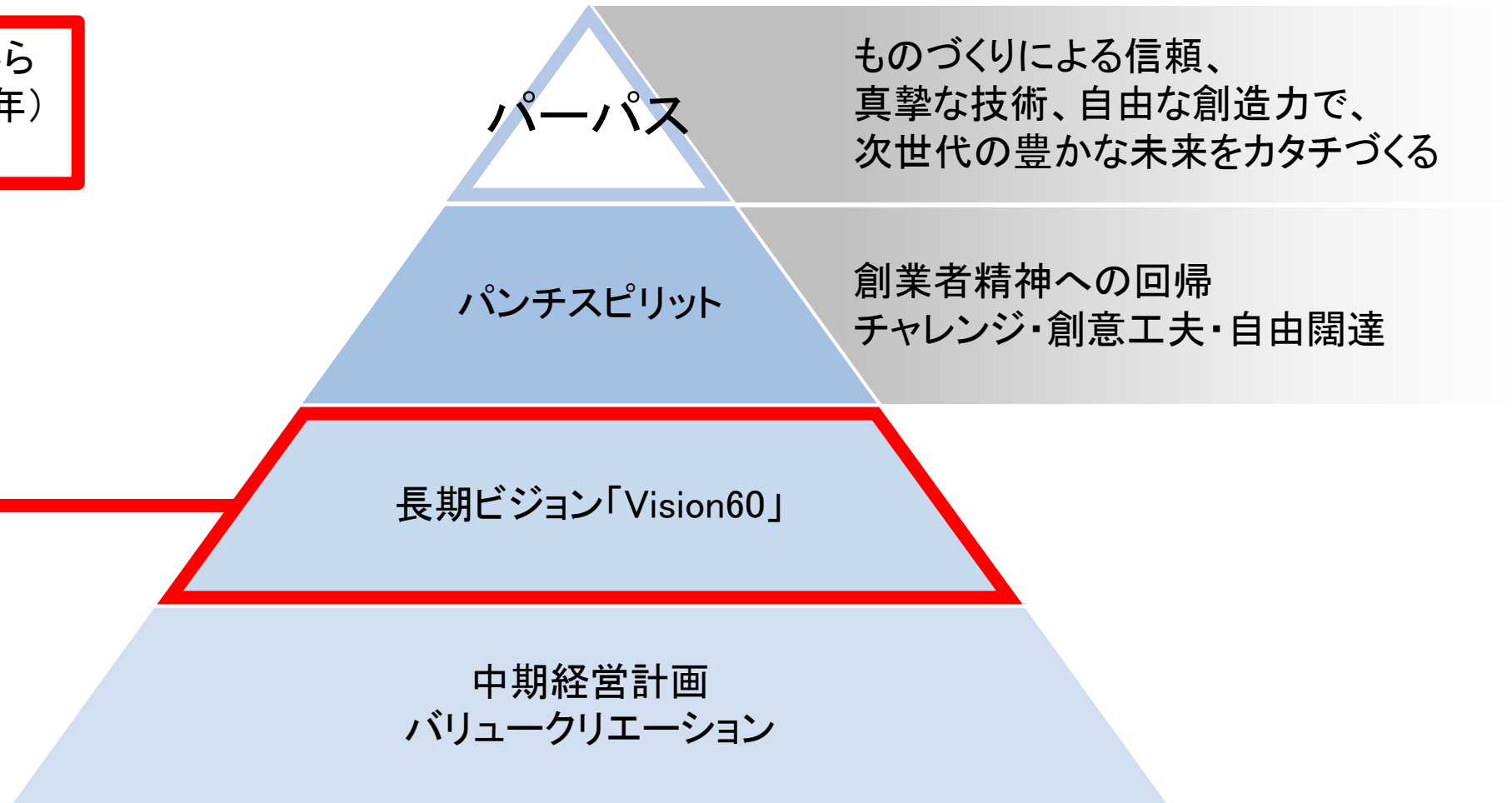


# 長期ビジョン「Vision60」

～脱・金型部品依存～

事業領域を拡大し、絶え間なく変化する社会の多様なニーズに貢献する企業グループを目指す

パーパスと未来予測から  
導きだす10年後(60周年)  
のパンチグループの姿



# パンチグループが考える「未来予測」

足下の事業環境から10年後の未来予測とパンチグループの「ありたい姿」を想定

パンチグループを取り巻く環境

高スピードで  
進む技術革新

- デジタル化、AIの進化により「社会」「ものづくり」変化
- 宇宙ビジネスが更に活発化
- メガキャスト、3Dプリンタ、デジタルツインなどが主流

労働人口減少  
高齢化社会

国内市場の  
成長鈍化

- 労働人口減少によるロボット化のスピードアップ
- 採用、賃金、労働環境などが大きく変化
- 定年延長等により働くシニア層が増加

国際社会情勢  
の大きな変化

環境への世界  
意識の高まり

- BRICS、グローバルサウスの更なる台頭
- 世界的な生産国、地域のシフト化
- 大量消費社会から循環型社会へと消費に変化

# 10年後に目指す姿

パンチグループのパーパス

ものづくりによる信頼、  
真摯な技術、自由な創造力で、  
次世代の豊かな未来をカタチづくる

## 【技術革新への対応】

- 高スピードで進む技術革新
- 「ものづくり」変化・複雑化

## 【高齢化、市場鈍化へ対応】

- 労働人口減少、高齢化社会
- 国内市場の成長鈍化

## 【社会情勢への対応】

- 国際社会情勢の大きな変化
- 環境への世界意識の高まり

## FA事業及び新事業（金型部品以外）

### ■ チャレンジ

- 中規模企業のM&A

### ■ 創意工夫

- 既存事業にとらわれないR&D

### ■ 自由闊達

- 成功体験のグループ内連携

## 金型部品事業

### ■ チャレンジ

- 資本業務提携の効果最大化

### ■ 創意工夫

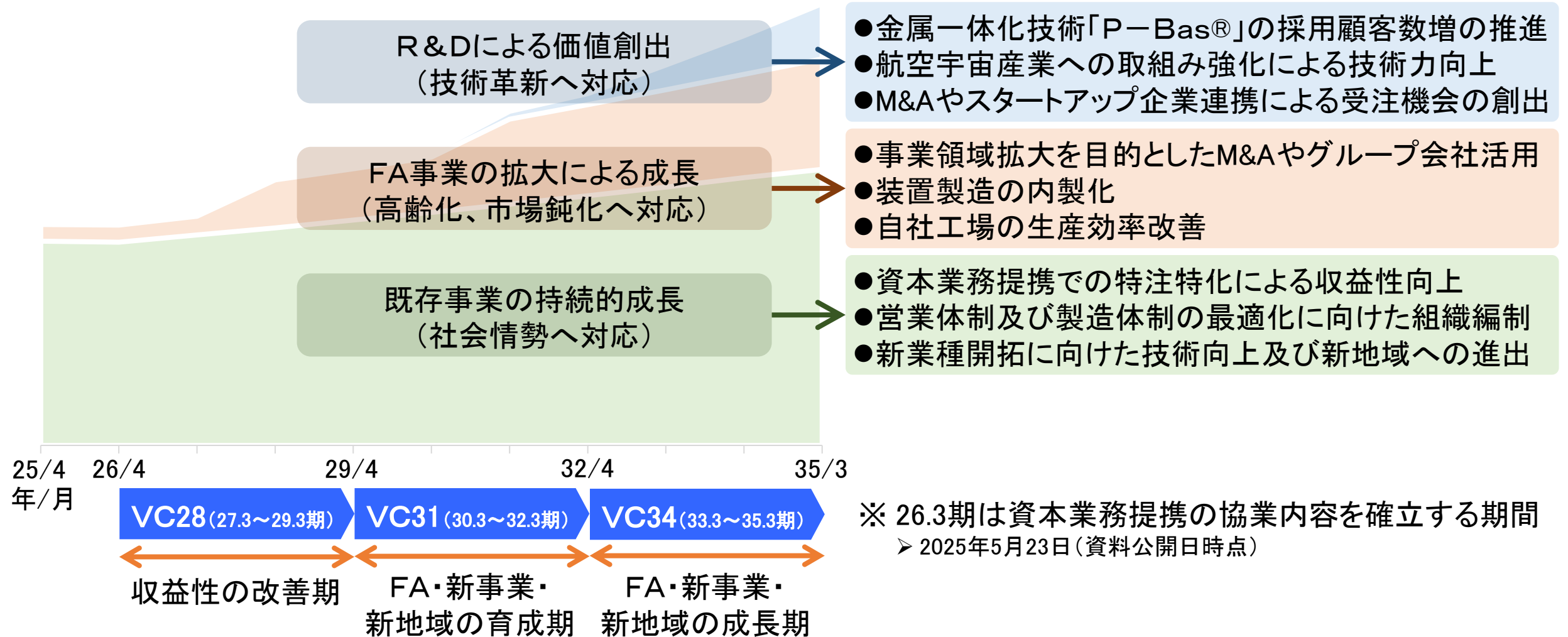
- 新業種・新地域の発掘

### ■ 自由闊達

- 営業と製造の取組み連携

# 「Vision60」で目指す事業規模

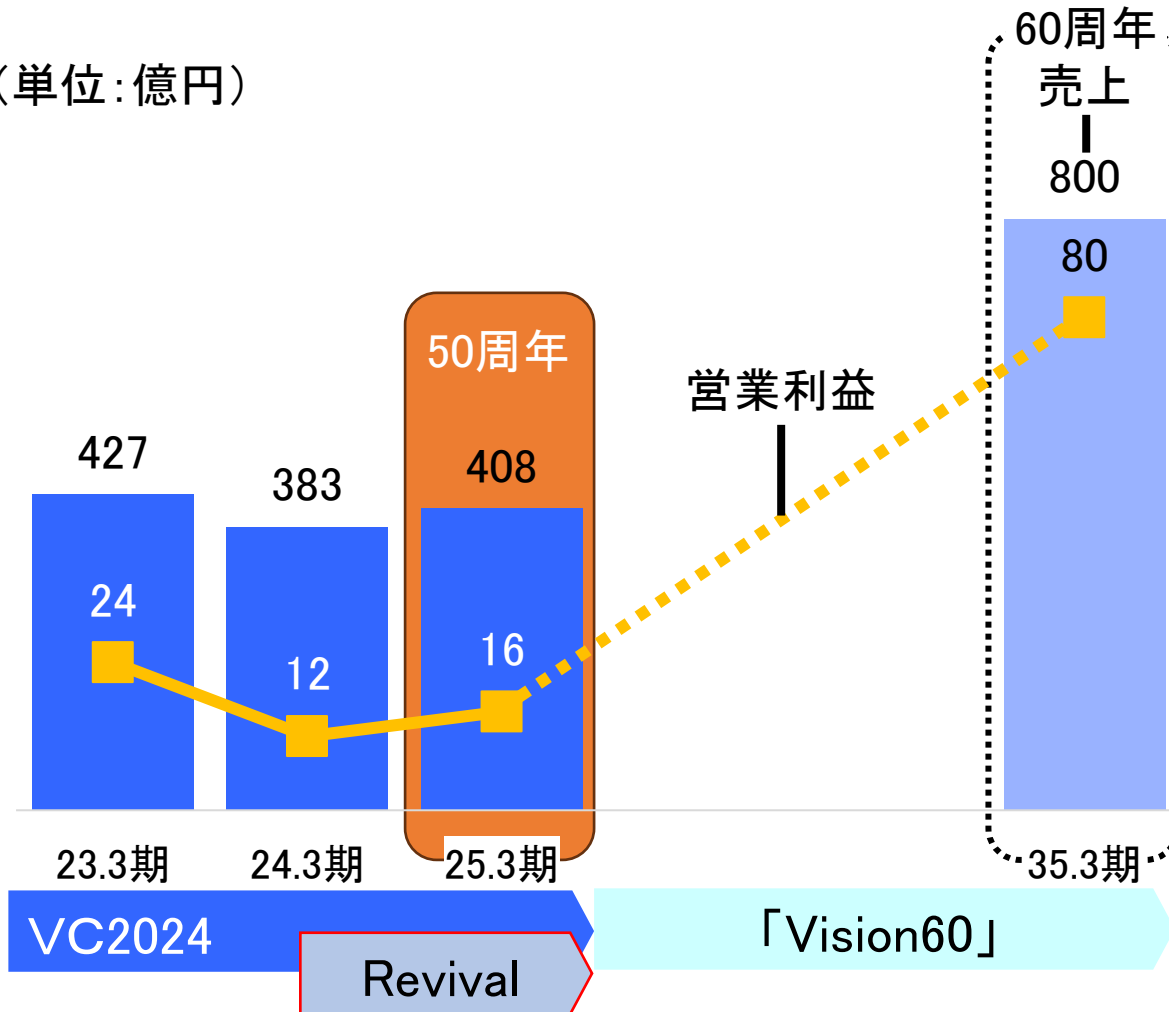
既存事業を基盤として社会の多様なニーズに適合した価値創出



# 「Vision60」の経営数値目標

既存事業を基盤として社会の多様なニーズに適合した価値創出

(単位: 億円)



3つの中期経営計画を経て目指す経営数値

売上高

800億円

営業利益

80億円

営業利益率

10%

目指す経営数値の実現に向けた取組み

- 既存事業の持続的成長
- FA事業の拡大による成長
- R&Dによる将来の柱事業となる新事業創出

# 人的資本経営に関する取組み

人的資本経営の“ありたい姿”

多様な人財が自律的に活躍し、信頼とつながりに基づく職場文化の中で、企業価値最大化に貢献する組織

パーパス × パンチスピリット

## 【DE & I 推進】

多様な従業員が強みを発揮でき、働きがいのある組織を目指す

- 多様性が尊重される職場環境の整備
- 多様な働き方の対応
- 離職防止と定着支援
- 女性活躍推進
- 社内コミュニケーションの活性化

## 【ウェルビーイング】

従業員が安心・安全・健康に働くことのできる環境の提供

- 健康経営促進
- 職場環境整備
- (社員間)関係の質向上
- リスクアセスメント体制の強化
- エンゲージメント向上
- 従業員支援プログラムの整備

## 【人財開発】

自ら考え自発的に行動し、成果に繋げられる人財の育成

- 「人財育成ガイドブック」による各種研修
- 人財データの分析と活用
- 人事制度改定・見直し
- キャリア自律支援
- グローバル人財育成

※ DE & I 推進

- ダイバーシティ(多様性)・エクイティ(公平/公正性)・インクルージョン(包摂性)
- 多様な人財が共に働く組織において、個々のニーズに応じた対応を行うことで、それぞれがいきいきと活躍し、継続的に成果を発揮するための考え方

# VC28の方向性

## 「Vision60」に基づき、収益性の改善を目指す

戦略骨子	取組みのポイント
既存事業の持続的成長	<ul style="list-style-type: none"><li>● 原価低減、自動化・省力化による収益構造改革</li><li>● ROIC向上、財務健全性の確保</li><li>● 人材育成、品質・安全・環境対応の強化</li></ul>
FA事業の拡大による成長	<ul style="list-style-type: none"><li>● FAパーツ～FA装置の販売強化、営業地域の広域化</li><li>● 外部委託先の拡充、M&amp;Aによる事業基盤強化</li><li>● Web活用、展示会、営業支援による装置受注拡大</li></ul>
R&Dによる価値創出	<ul style="list-style-type: none"><li>● 精密ブロック、ギア、スピンドル、宇宙関連などの新製品開発</li><li>● 硬脆材料・非金属加工技術の革新</li><li>● 中国開発拠点での量産力強化とグローバル市場対応</li></ul>

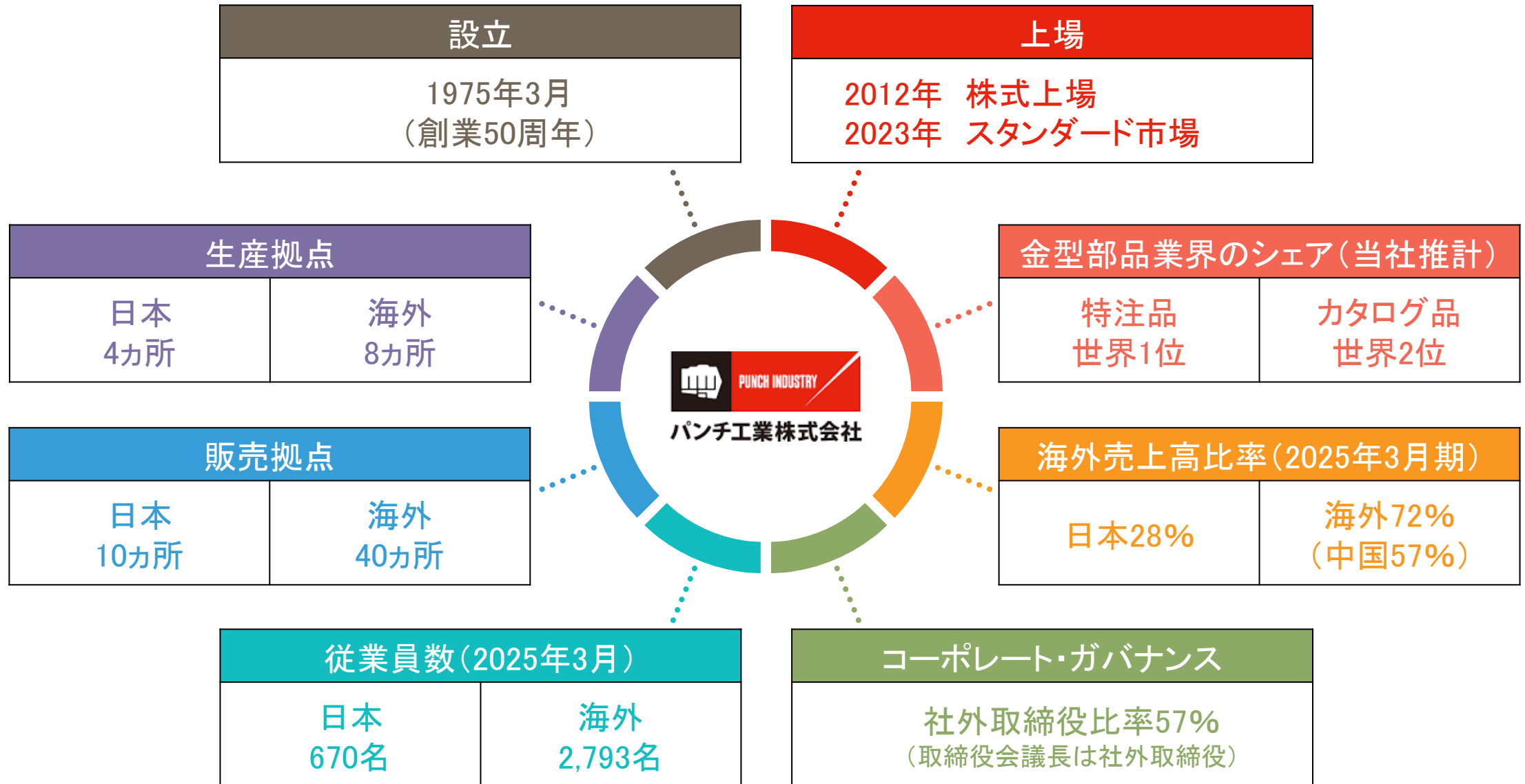
### ■ 収益構造の改善と業務効率化を多面的かつ実行力重視で取組む

人員効率の向上と労務費率の低減	業務プロセスの簡素化・統合を進め、組織の合理化を図る
業務の自動化・省力化	部門間で連携し、既存業務の分析と最適化を継続的に実施
原価管理強化	内製品原価率の持続的低減（設備稼働率向上、製品コスト改善など）

# 参考資料



# ひと目でわかるパンチグループ



# マネジメント体制

## 代表取締役社長プロフィール

### 氏名及び生年月日 職歴

森久保 哲司  
(1977年1月22日)

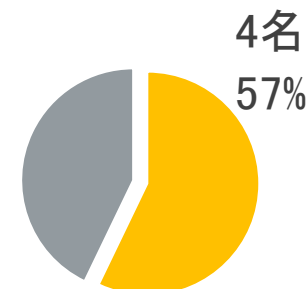


2003年5月	当社入社
2005年2月	盤起工業(大連)有限公司
2012年11月	バリュー・クリエーション推進室長
2013年4月	経営企画室長
2015年4月	PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
2016年5月	執行役員
2018年6月	取締役 上席執行役員 経営戦略統括
2019年4月	最高戦略責任者 グループ事業統括
2019年6月	代表取締役(現任) 副社長執行役員
2019年11月	社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

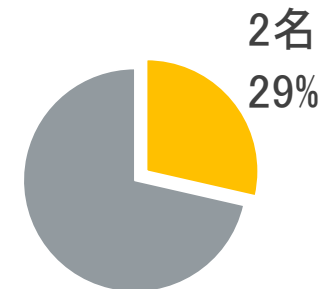
## 取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役	高辻 成彦
	社外取締役 取締役会議長	大里 真理子
取締役 (監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

社外取締役比率



女性取締役比率



# パンチグループ沿革

'70

1975

- ・創業、プリント基板用穴あけピン製造

'80

1982

- ・プラスチック金型部品に進出  
(ハイスエジクタピンの量産化に成功)

1983

- ・北上工場設置、金型部品の全国販売を開始

1989

- ・宮古パンチ工業(現:宮古工場)設立

'90

1990

- ・中国大連に製造拠点設立

'00

2001

- ・中国国内に販売拠点設置

'10

2010

- ・インドに販売拠点設立

2013

- ・パンサー社(現:マレーシアパンチ)をグループ会社化
- ・中期経営計画  
「バリュークリエーション15」

2014

- ・東京証券取引所市場第一部銘柄に指定  
(2012年東証二部上場)

2015

- ・ベトナムに製造拠点設立
- ・創業40周年

2016

- ・ベトナム工場、本稼働開始
- ・米国イリノイ州に販売拠点設立
- ・中期経営計画  
「バリュークリエーション2020」

2018

- ・中国大連の製造拠点増設

2019

- ・ベトナム工場 第2フェーズ開始

'20

2020

- ・中期経営計画  
「バリュークリエーション2020Plus」
- ・経営革新プロジェクト開始

2022

- ・中期経営計画  
「バリュークリエーション2024」
- ・株式会社ASCeをグループ会社化

2023

- ・中期経営計画  
「バリュークリエーション2024 Revival」
- ・東京証券取引所スタンダード市場移行

2024

- ・ミスミグループとの資本業務提携契約を締結

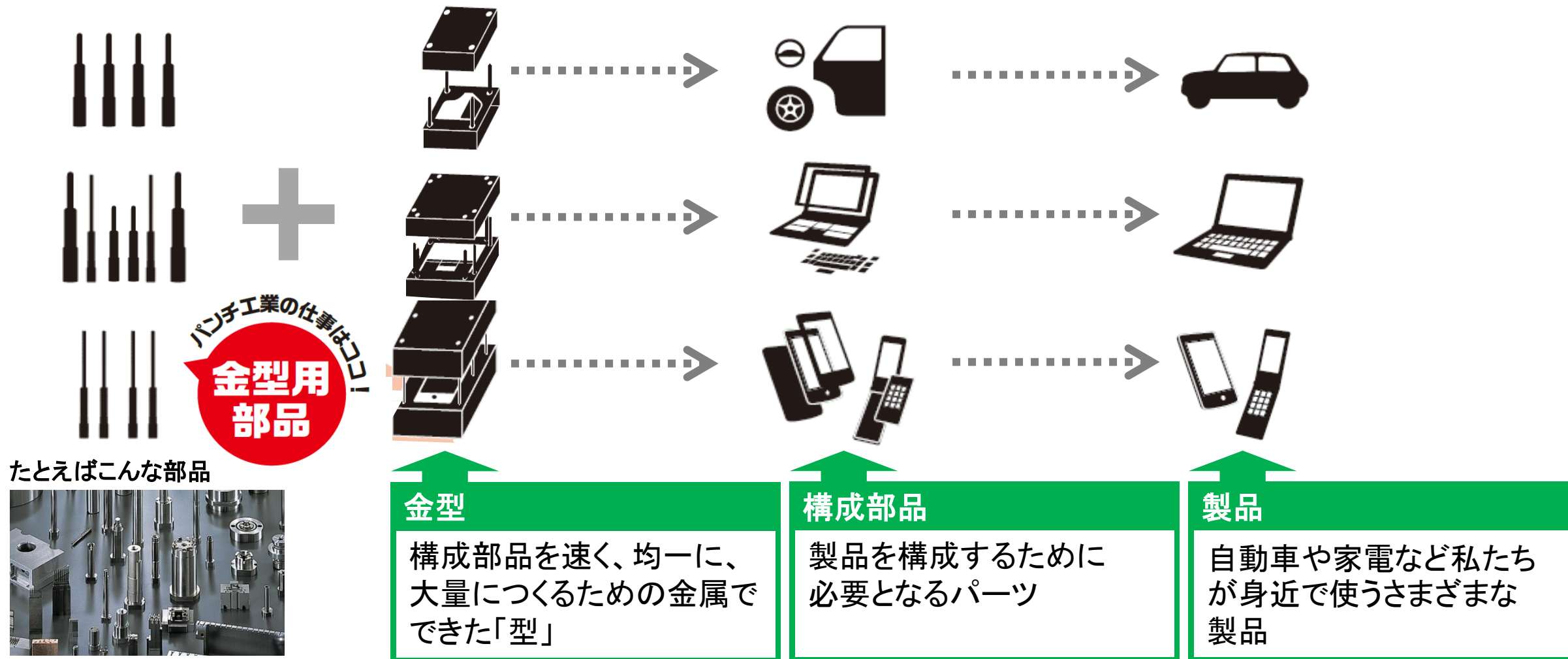
2025

- ・長期ビジョン「Vision60」策定



# 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売  
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



# パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品  
ものづくりの上流から下流までお取引

## プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



### 主要な製品

#### エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



### 主要な製品

#### コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

## プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



### 主要な製品

#### パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



### 主要な製品

#### ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



# パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品  
世界の「ものづくり」を支える

## パンチグループの強み

お客様に高い満足度を提供

**日本・中国**

特注金型部品シェア1位 ※当社推計

### カタログ品

汎用性の高い標準製品を………  
豊富にラインアップ



タイムリーで  
的確な  
ソリューション

一気通貫の  
生産体制  
2,000台の設備で  
幅広い対応力

お客様密着型の  
営業体制  
きめ細かな  
対応・提案力

### 特注品

カスタムニーズにも  
柔軟に対応

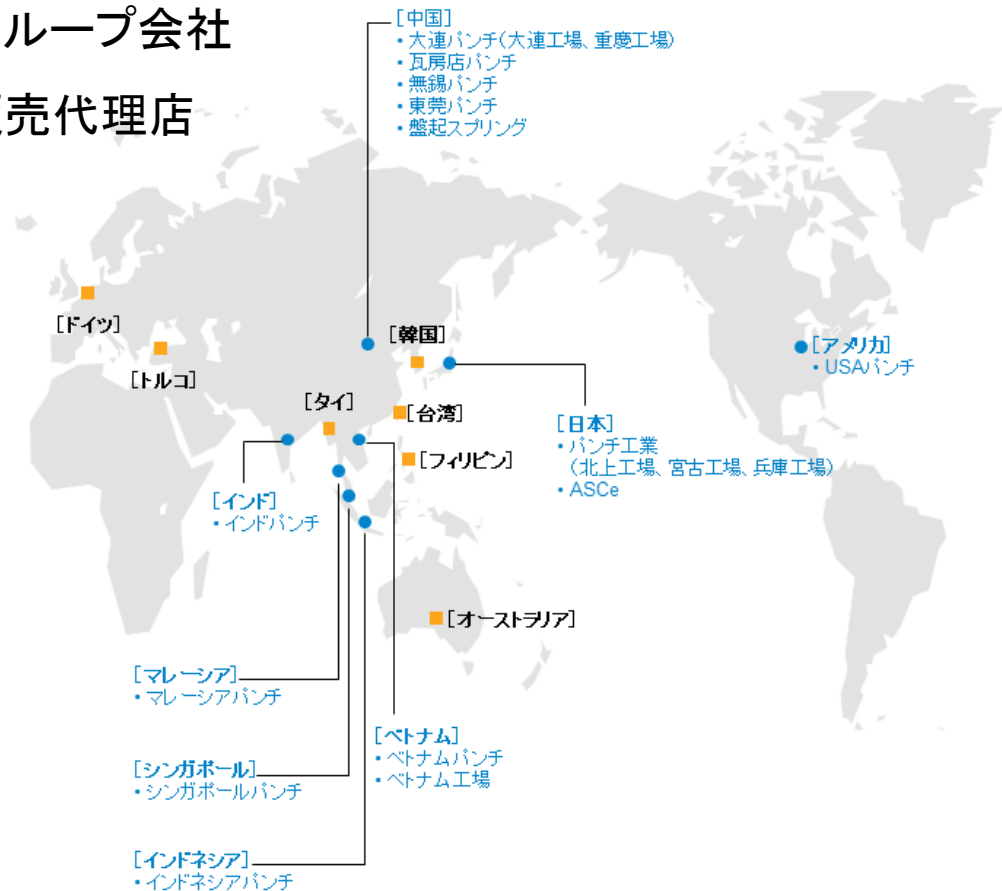


高い技術力  
創業以来培った  
ノウハウと  
たゆまぬ研究開発

## パンチグループのネットワーク

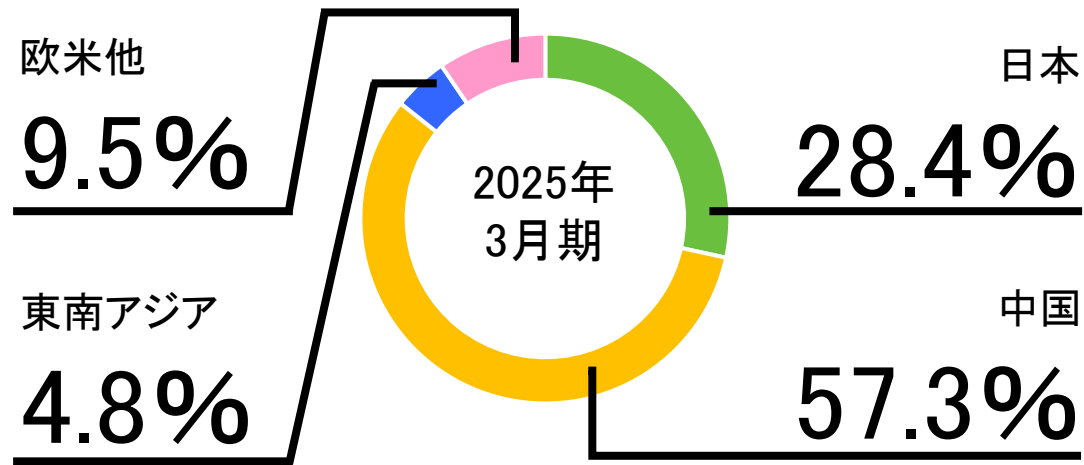
● グループ会社

■ 販売代理店

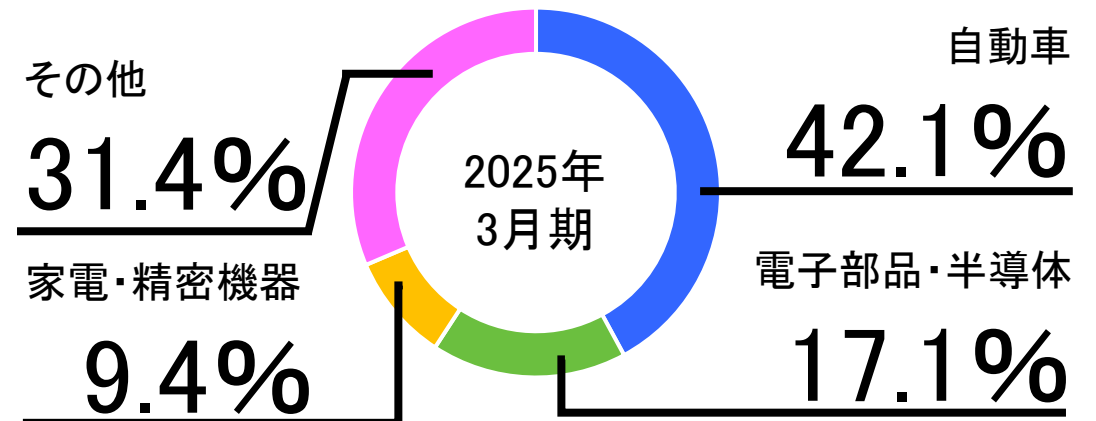


# 地域別・業種別売上高構成比

## 地域別売上高構成比



## 業種別売上高構成比



# 業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど  
中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど

## 主要顧客

自動車メーカー  
及びTier1,2  
金型メーカー



## 主要顧客

電子部品メーカー  
半導体装置メーカー  
金型メーカー



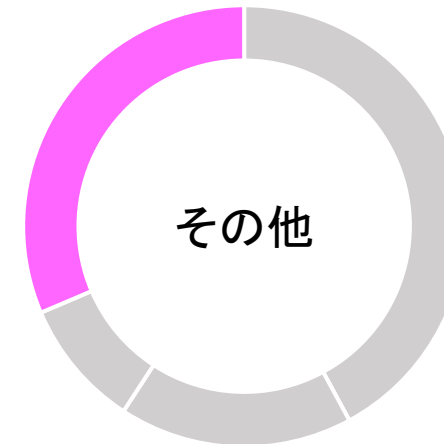
## 主要顧客

家電メーカー  
金型メーカー



## 主要顧客

文具メーカー  
玩具メーカー  
医療メーカー  
飲料容器メーカー  
グローバル商社  
金型メーカー



# エンドユーザーのイメージ（例：自動車関連）

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・  
コネクター・等々のメーカー



金型 メーカー

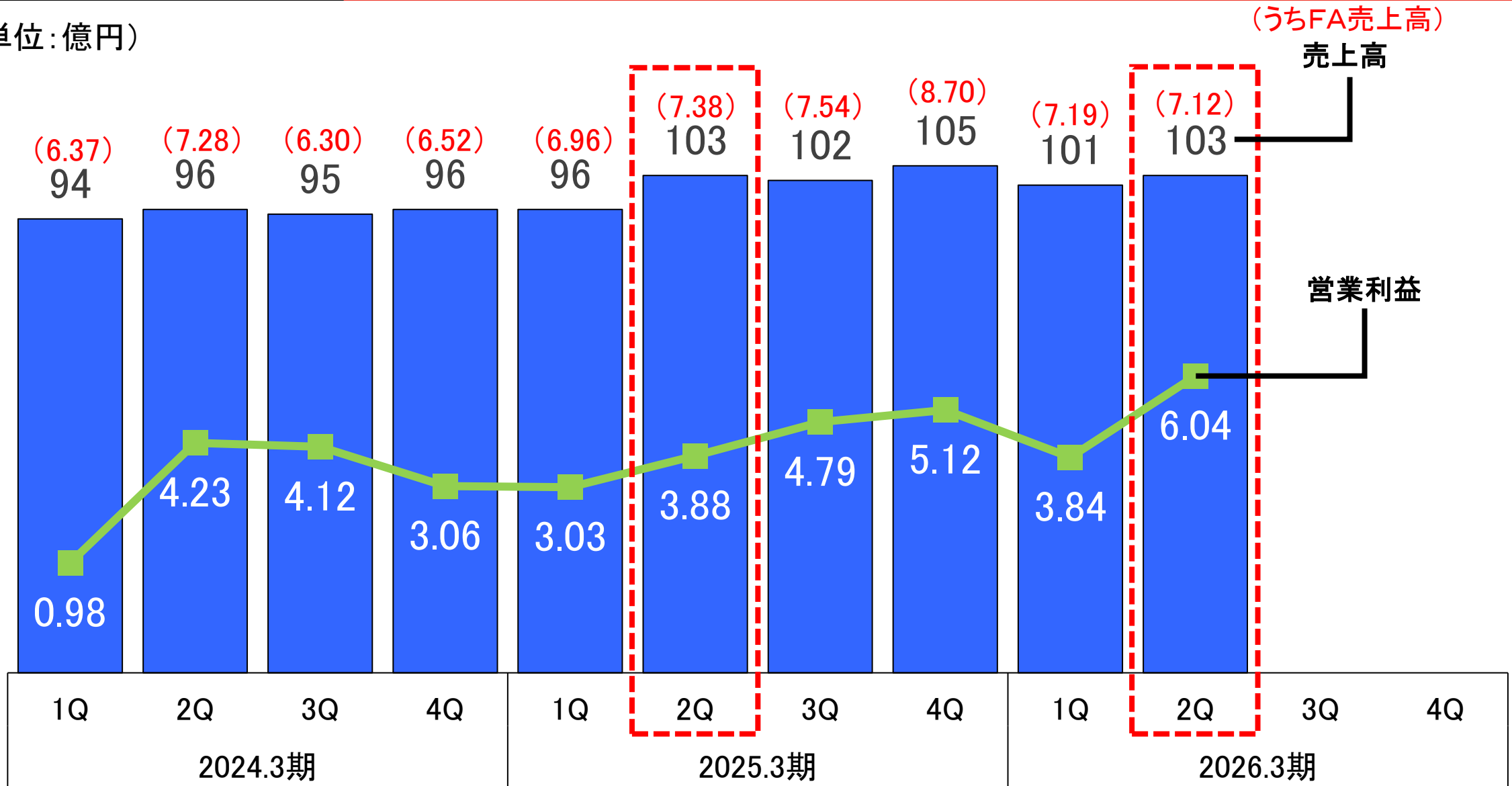


パンチグループ



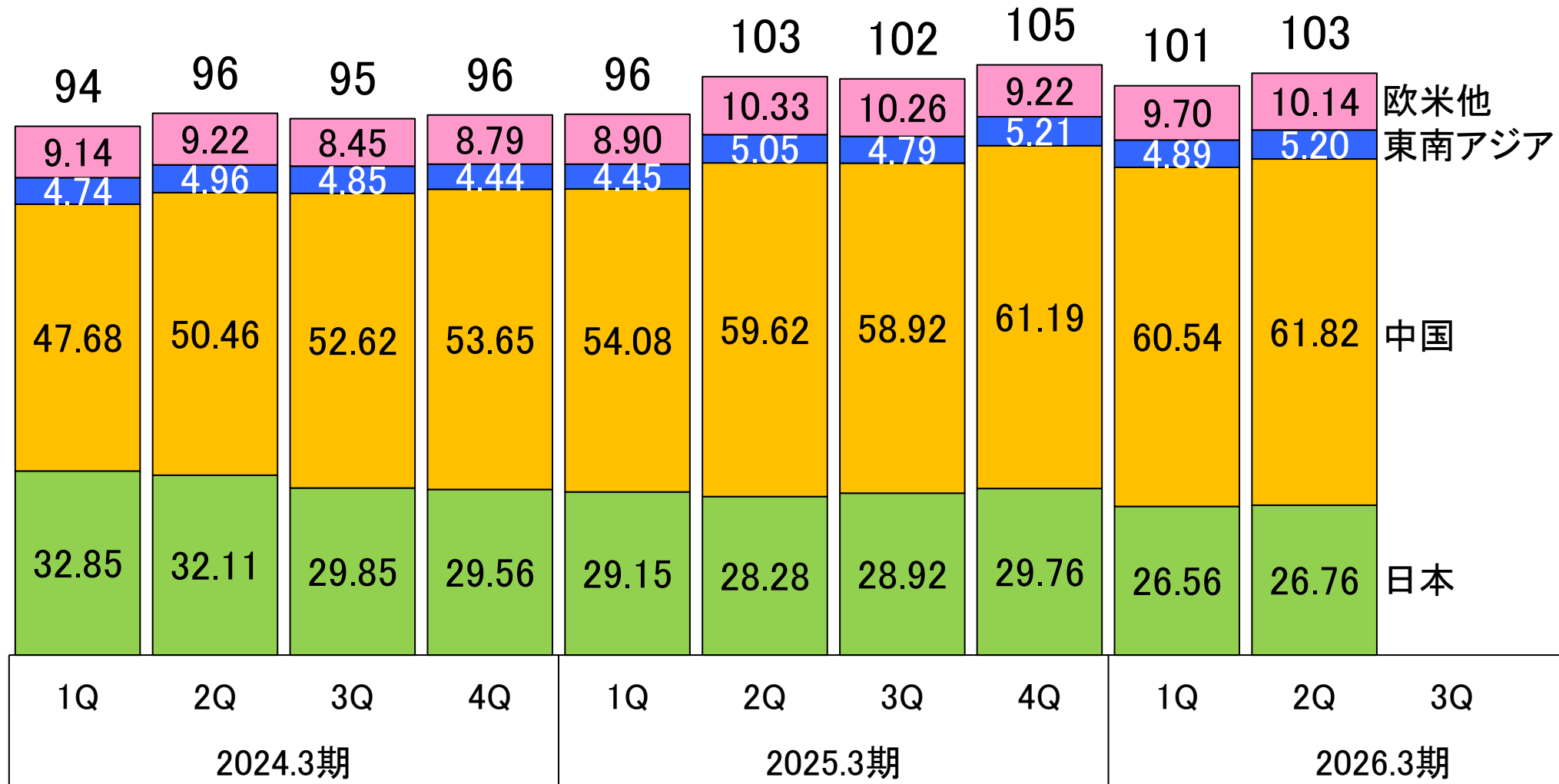
# 売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



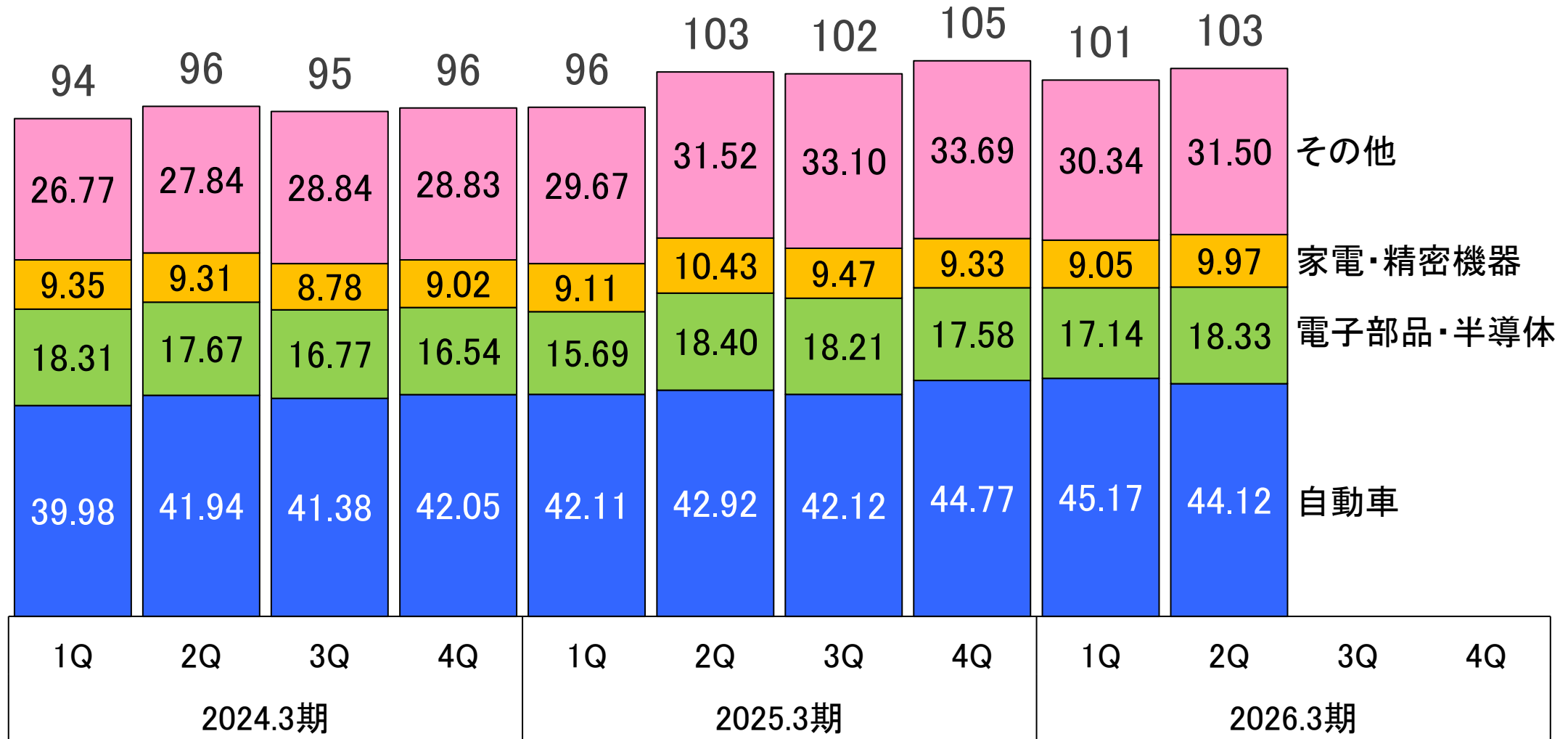
# 地域別売上高

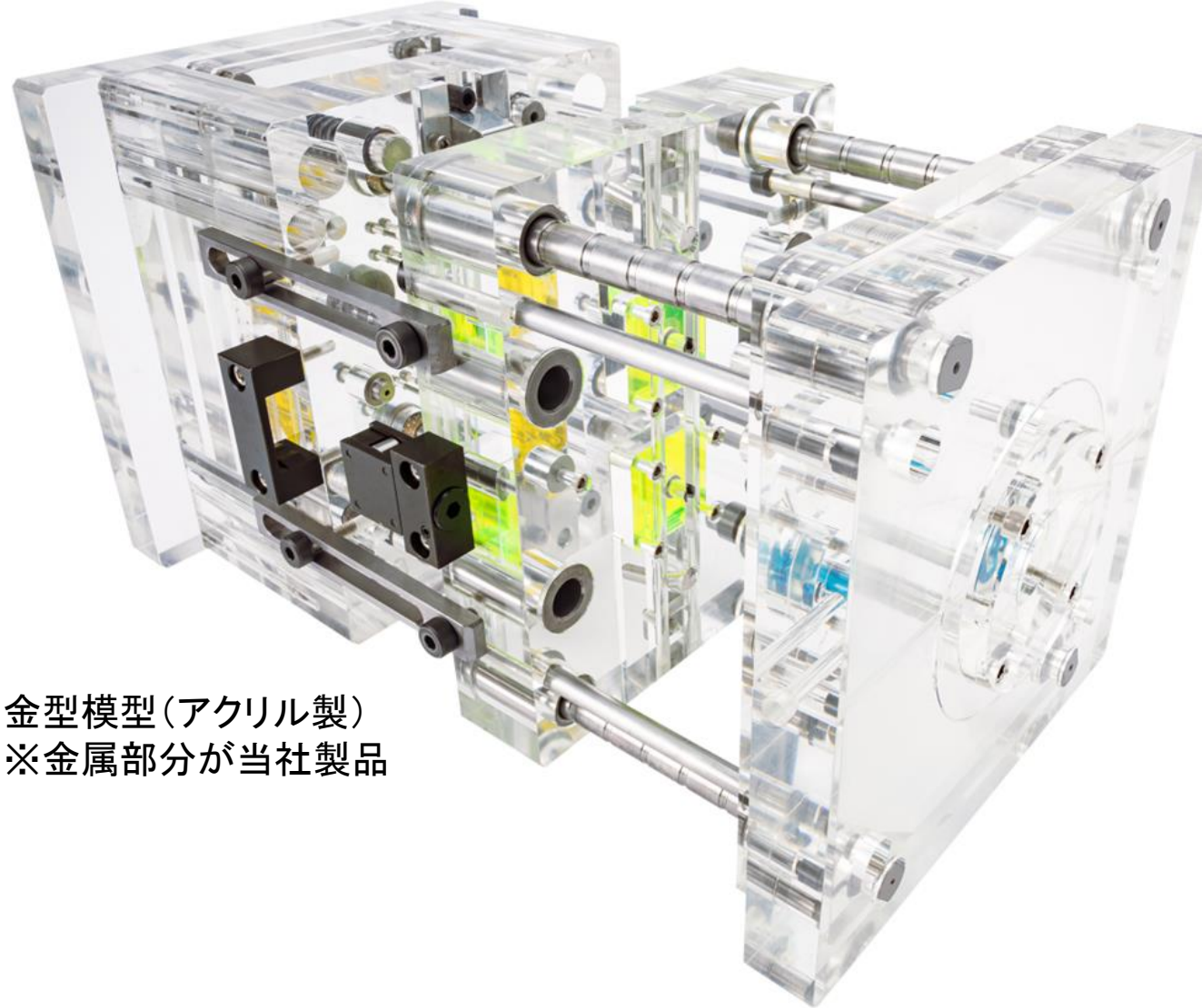
(単位: 億円)



# 業種別売上高

(単位: 億円)





金型模型(アクリル製)  
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 コーポレート・コミュニケーション室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:[info-corp@punch.co.jp](mailto:info-corp@punch.co.jp)

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。